

衆議院厚生労働委員会ニュース

【第204回国会】令和3年3月12日（金）、第4回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

・田村厚生労働大臣、藤井内閣府副大臣、山本厚生労働副大臣、宮路総務大臣政務官、鰐淵文部科学大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）独立行政法人地域医療機能推進機構理事長 尾身茂君

（質疑者）川内博史君（立民）、西村智奈美君（立民）、中島克仁君（立民）、高井崇志君（国民）、宮本徹君（共産）、梶屋敬悟君（公明）、青山雅幸君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

川内博史君（立民）

（1）東京オリンピック・パラリンピックでの新型コロナウイルスワクチンの接種関係

ア 中国製ワクチン関係

a 政府が把握している情報

b 中国衛生局から提供されている情報の有無

イ 出場選手に中国製ワクチンを提供するというIOCバツハ会長の発言関係

a 厚生労働大臣への事前の連絡の有無

b 内閣官房東京オリパラ推進本部事務局への事前の連絡の有無

c ワクチン提供等についてIOC会長が発言することの規約上の可否

d IOCの総会で議題として諮られているかの確認

ウ 公衆衛生関係

a 東京オリンピック・パラリンピックでの公衆衛生の最終責任者の確認

b 東京オリンピック・パラリンピックの公衆衛生については日本政府が対応することの厚生労働大臣からの表明の必要性

（2）新型コロナウイルスワクチンの副反応関係

ア 現時点のワクチン接種人数・アナフィラキシー発症人数・アナフィラキシーショック発症人数の内訳

イ アナフィラキシー発症人数が諸外国に比べ多いことへの厚生労働大臣の見解

ウ 現時点で把握しているアナフィラキシーが発症する原因

エ ワクチン承認の際のアナフィラキシー関係

a アナフィラキシーについての検討の有無

b 治験の前段階での抗体検査の有無

c アナフィラキシーの発症についての議論の有無

d アナフィラキシーの発症についての議論の詳細

オ アナフィラキシーの発症の傾向や原因物質等について発信する必要性

カ アナフィラキシーの発症の現状等を含め、あらゆる可能性を踏まえワクチン接種を進めることについての厚生労働大臣の見解

（3）フッ化物洗口関係

ア フッ化物洗口が小中学校で集団的に行われていることが新型コロナウイルス感染症予防に及ぼす影響についての尾身参考人の見解

イ フッ化物洗口のガイドラインを新型コロナウイルス感染症を踏まえ改定することについての厚生労働省の見解

西村智奈美君（立民）

- (1) セクシュアルハラスメント及びパワーハラスメント対策関係
 - ア 男女雇用機会均等法に係る通達、パワーハラスメント防止のための指針、人事院規則等におけるセクシュアルハラスメント及びパワーハラスメントに係る記載内容
 - イ 民間事業主及び公務における雇用管理上の措置義務の履行状況
 - ウ 公務において措置義務の内容に労働者の主観を重視することが含まれていることの明確化及び周知の状況
 - エ 都道府県及び政令指定都市以外の自治体の雇用管理上の措置義務の履行割合を引き上げる必要性並びに都道府県及び政令指定都市以外の教育委員会における措置義務の履行状況を把握する必要性
 - オ 雇用管理上の措置義務の内容に労働者の主観を重視することが含まれていることが民間事業主に對して明確化されていることの確認
 - カ 東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長の交代に関連して衆議院議員が行ったセクハラが当たり前の世界である旨の発言を厚生労働大臣として否定する必要性
- (2) 新型コロナウイルスワクチン関係
 - ア インスリン用の注射器を用いて1バイアルで7回接種することに厚生労働省として問題ないと確認したのか否かの確認及び他国の実施状況
 - イ ファイザー社との契約の前提となっている1バイアル当たりの接種回数及び接種回数が曖昧であることを理由に支払いを留保する可能性の有無

中島克仁君（立民）

- (1) 新型コロナウイルスのイギリス変異株の致死率が高いとの論文が示されたことについての厚生労働大臣の見解
- (2) 我が国において医療を提供できないという状況を二度と起こしてはならないとの認識を厚生労働大臣が有していることの確認
- (3) 新型コロナウイルス感染症の治療薬として有効との指摘があるイベルメクチン関係
 - ア 研究開発支援に関して「最大限の努力をする」とした2月17日の予算委員会での内閣総理大臣の答弁の具体的な内容及び内閣総理大臣からの指示の有無
 - イ 適応外使用についてもレセプトを適切に記入することにより保険適用となることの確認
 - ウ 適応外使用について医薬品副作用被害救済制度の適用があることの確認
 - エ 保険適用される医薬品について医薬品副作用被害救済制度の対象とならないことは不合理ではないかとの指摘に対する厚生労働大臣の見解
 - オ 厚生労働大臣が「今でも使える」と答弁した意味について自由診療として使えると答弁していたことの確認
 - カ 北里大学に対して国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が追加の支援を拒否した事実関係の確認及び「最大限の努力をする」とした内閣総理大臣の答弁との整合を図るために明確な支援を検討する必要性

高井崇志君（国民）

- (1) 令和2年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金関係
 - ア 補助金による病床の増加数及び予算額に占める申請額の割合
 - イ 減収補填に使用できることとする等の改善の必要性
- (2) 総合支援資金の特例貸付関係
 - ア 細かな審査より迅速な支給を優先する必要性
 - イ 2月26日の予算委員会第5分科会での厚生労働省の答弁における「きめ細かな対応」の趣旨

- ウ 検討中とされている返済免除について決定する時期
- エ 収入と支出を細かく調べてその差額のみを貸し付けるという取扱いの妥当性
- オ 返済能力が低いことを理由に貸さないという取扱いの妥当性
- カ 過去に減額決定した貸付の減額した分を支給するという愛知県社会福祉協議会の対応と同様の対応を他の都道府県においても行う必要性

宮本徹君（共産）

- (1) シフト制で働く非正規雇用労働者の保護強化のため、2019年EU指令を参考にしてシフト制労働契約の濫用防止のための法規制を検討する必要性
- (2) 看護師の介護施設への日雇派遣の解禁により介護現場で深刻な問題が生じる可能性
- (3) 厚生労働省職員の残業実態関係
 - ア 本年1月の超過勤務時間
 - イ 超過勤務時間以外の在庁時間の有無
- (4) 新型コロナウイルス感染症関係
 - ア ワクチン関係
 - a 血小板減少性紫斑病により脳出血又はくも膜下出血を起こす可能性
 - b 新型コロナウイルスワクチン以外のワクチンでも血小板減少性紫斑病が起きる可能性
 - イ 感染者数の減少が鈍化している原因についての尾身参考人の見解
 - ウ 感染経路関係
 - a 尾身参考人が2月25日の会見において、感染経路としてマイクロ飛沫感染が当初よりも重要性を増しているとした根拠
 - b マイクロ飛沫感染に関する海外の論文についての尾身参考人の見解
 - c 感染拡大にマイクロ飛沫感染が重要な役割を果たしている事実並びに換気及びマスクによる対策の重要性を国民の共通認識とするための方策についての尾身参考人の見解
 - d マイクロ飛沫感染対策が重要であることを厚生労働省が強調して周知する必要性
 - エ PCR検査関係
 - a 陽性者が確認された場合、濃厚接触者のみならず、一定時間同一空間に滞在した接触者も検査対象とすべきであるとの指摘に対する尾身参考人の見解
 - b 高齢者施設等においては頻回検査を行う必要があるとの指摘に対する尾身参考人の見解

梶屋敬悟君（公明）

新型コロナウイルスワクチンの接種体制関係

- ア 河野国務大臣と厚生労働大臣の役割分担及び職務権限の差異
- イ ワクチン接種に係る河野国務大臣と厚生労働大臣の協議内容
- ウ 予防接種台帳及びワクチン接種円滑化システム並びにワクチン接種記録システムが法定受託事務か自治事務かの確認
- エ ワクチンの供給が遅れていることを踏まえた3月中旬を目途として自治体に策定を求めている接種計画の策定期限の見直しの方向性
- オ 医療従事者へのワクチン接種が不十分な状況で高齢者へのワクチン接種が開始される懸念

青山雅幸君（維新）

- (1) 新型コロナウイルスワクチン関係
 - ア 接種会場において挿管器具の常備は求めていることの確認

- イ アナフィラキシーの発症に備えて接種会場に挿管器具を常備する必要性
 - ウ 挿管器具がなかったために死者が出た場合の厚生労働省の責任
 - エ 多数のアナフィラキシー発症を踏まえて特例承認の見直しを検討する必要性
 - オ ポリエチレングリコールがアナフィラキシーを起こす危険性について広く周知する必要性
 - カ 上記の危険性について特に接種を行う医師に周知を徹底する必要性
- (2) 新型コロナウイルス感染対策関係
- ア ワクチンだけに期待することなく軽症者への診療体制を強化することで重症化の防止を促進する必要性
 - イ 感染拡大防止対策の重点を飲食店から高齢者施設に移動する必要性についての尾身参考人の見解